時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には每號詳細なる商況物價の報告あり

明治廿八年一月六日　日曜日
舊曆甲午十二月十一日（癸丑）
日出午前六時五十三分　日入午後四時四十一分
滿潮午前十一時十三分　午後十一時五十三分
〔西曆一千八百九十五年〕
年始より六日
年末まで三百五十九日

時事新報

昨年中の帝國議會と將來の政策

昨明治二十七年は帝國議會の開院式を行ふこと第六、第七、第八の都合三回に及びたる年にして此間二回の總選擧を行ひたるとなれば政界の多事なりしは定めて讀者の記憶に存する所なる可し扨その第六議會とは如何なる性質のものなるやと云ふに第五議會が二十六年十二月三十日を以て解散せられたるにより昨年三月一日を期して總選擧を行ひ五月十五日恰も新綠蛙鳴の時を以て改めて開會したるものにして即ち解散後の特別議會なり然るに其解散せられたる議會は政府に向て無二無三に衝突を試み遂に排外論を湧起して條約勵行を建議せんとするに至りたるものなりしが第六議會も其因緣によりて同じく前轍を踏み解散は非なり勵行は是なり斯る政府と並び立つこと能はずとて開會の劈頭より激烈なる上奏案を提起し形勢太だ不穩なりしも天下自から具眼の人ありて排外論もいつしか非難の聲に壓せられ為めに其議を遂ふすること能はず後に至りて大に修正を加へたるものを見れば殆んど勵行云々の跡なかりしかども政府に於ては右の沿革あるが為めに猶その餘臭に堪へずやありけん一旦停會を命じたる後間もなく六月二日を以て上奏は御採用相成らずと宣告し同時に解散の令を下せしに即夜よりして朝鮮の變亂は世間の耳目を聳動するところとなれり朝鮮變亂に二十日未滿の其間には自由黨が井上伯と藤田組との舊事に就て攻擊を加ふる等種々の濁浪狂瀾を揚げて議會の品位は政論の調子と共にますます亂暴を極めたる次第なれば假令ひ解散に次ぐに解散を以てするも民論の反抗は決して鎭定す可くもあらず假令ひ上奏は御採用成らずと雖も種々に形を替へて閣臣の責任を問ふは素より明白なる所にして殊に伊藤內閣は第四議會以來衝突に衝突を重ね最早や應接に困却したる場合なれば政界の前途頗る危急の模樣なりしに時なる哉韓山の風雲急を告げて局面全く一變せんとするの兆候を呈せり聞く所によれば內閣にても議會解散の問題未だ決せざるに朝鮮問題の起るに會したれば解散云々の如きは大事の前の小事となりてさしもの難問題も容易に一決したりと云ふ

是より先き我帝國議會の紛爭非常なるを見聞して日本は到底立憲政體に堪へずと為に冷笑したる外國人もありたる由なりしが所謂紛爭は我國民の一國事たるに過ぎずして本心の光明は決して國家の大事を無視するものにあらず左ればこそ朝鮮の如く國家の[illegible]に逢ひたる際には一たび[illegible]の聲に接するや狂[illegible]も[illegible]言はず[illegible]議員と[illegible]其大業を成さんとして昨日今日[illegible]を捨てたる其間に全く身構を別にして[illegible]したるのみ[illegible]狀の限りなれ爾來戰捷の一大立願の外他念なくして軈て九月一日に至り解散後の總選擧を擧行するに及びては是も國民の要務なりとて戰爭中靜に擧行の事を理し十月十五日に至り臨時に第七議會を廣島に召集するや全會一致を以て一億五千萬圓の軍事公債を可決し陛下に對し奉りては御威德を頌し政府に向ては飽まで終極の目的を貫く可しと建議したる外他に一語を云ふ者なく而して今度の第八議會も頗る靜謐の中に開會を告げたり首を回して六月以前の事を追想すれば茫々として夢の如く夫の諸外國人の如きは一驚背後に瞠若たるのみにして殊に支那の李鴻章に至ては最も甚だしく我議會を誤認したる程に其吃驚悔悟も亦甚だしく唯長大息の外なしとは實に古今史上の一奇談と云ふ可し左れば本年の議會史は開院式を行ふこと三回にも及びて一見極めて多事なるが如くなれども實は下半季の二回は頗る肅々たるものにして唯特に着眼す可きは始めに紛擾の極度に達したる後には靜謐の極度に達して兩極端の異例を呈し世界獨歩の偉觀を示したるの一事あるのみ

然りと雖も議會の靜謐なるは唯國家緊急の大事を念ふが為めにして決して前々來の不和軋轢を忘却したるに非ざれば事擧るの後は復た衝突を再演せんこと蓋し疑を容れざる可し政府が武功を挾んで議會に臨むと雖も其久きに堪へざるや素より明白なれば他に如何にして民論を操縱す可きや其政策の定まる所は即ち議會の政策も亦定まる所にして第一に注意す可き要件なれども我輩の所見にては一言以て之を蔽ふに足るが如し即ち政府の政策は必ずや實業の朋友となり積極的に富國の計を畫するなる可し是れぞ國家の急要のみならず假令ひ或る他の點に於て議會と衝突を釀すことあるも爭ふ可らざる武功ある上に既に實業の良友たるを示す上は天下の輿論は政府を認めて富國强兵の策に油斷なきものとして多少の瑕瑾あるも敢て不信となさゞる可し民論も亦之れに抗する能はざる所なれば更に議會の為めに謀るに寧ろ政府に先んじて實業の良友たらんことを勉め來る八日より開會す可き議場に於ても强て政府との衝突を避け富國の計を以て專一となす可し隨て輿論の信任を得て將來政府の地位に立つも定めて安心なる可きを示すときは政黨內閣の時期に達する豈甚だ遠しとせんや政府も議會も將來の政策は實に此一途の外なきを信ずるものなり

雜報

○黄海の海戰（前々號の續き）

今度の海戰に依りて顯はれたる兵學上の利益は疾くに人の論じたる所にして一も新奇なるものなし然れども其之を論じたる為めに一層其說を確實ならしめたり蓋中軍艦の速力は極めて重要なるものにして之に對しては巨砲及び甲鐵も充分の効を奏する能はざるを示したるは其最も緊要なるものなり支那艦隊は速力の日本艦隊に及ばざると位置の險地に接近したるが為め進退自由ならざるに反して日本艦隊は速力優等にして位置も廣濶なりしかば自在に運動するを得たり丁提督のV字隊形換言すれば新月隊形に備へたるは何の意なるや明ならざれども恐くは是も狗逃顧問の勸めに從ひリッサ海戰の際テゲットホーフの用ゐたる陣形に傚はんとしたるものなるべし然れども此隊形はリッサに於ても効を奏せざりしものにして且つテゲットホーフは攻擊者の地位にありて之を用ゐたるなり然るに之を速力遲緩にして而も防禦の地位に立てる艦隊に用ふるは只だ其隊を分離するのみ又若し日本の艦隊にして力を合して敵の一翼を攻擊したりしならんには其功は更に大なるものありしならんか併し是等に就て論ずるは未だ其時を得たるものと云ふべからず何となれば吾人の得たる通信は尚ほ不充分にして其細密なる點に關して明に評論する能はざればなり是までに達したる通信より考ふれば日本は漸々に敵の一翼より他翼に移り代る攻擊を試みたるが為め攻擊力を專らにする能はざりしが如しと雖も必ず伊東司令官の處置を正當とすべき吾人の未だ知らざる事情ありしならん思ふに氏は味方よりも堅牢にして而も良武器を具へたる甲鐵艦に接近するは甚だ危險なりと考へたるや明なり日本艦隊には鎭遠定遠に匹敵すべきもの一艦もなかりしと雖も相當の距離を隔てゝ其小形なる速射砲を亂發し以て能く是等の大艦に勝つことを得たるものなるべし

聞く所に據れば鎭遠の三十七噸砲は當戰鬪の始めに無効に歸したりと云ふ夫れ或は然らん是等は相接する二個の砲座に二ッ宛据付けありてイングルス氏は曾て之を見て一個の砲座の覆蓋を打てば艦中の重なる大砲を悉く無効にするに足るべしと日本士官に語りたることありと云ふ然るに日本艦隊は其既に破壞したるを知らず唯だ一哩若しくは一哩半の距離を隔つれば敵の巨彈を受くるの憂なかるべしと信じ敢て進んで危險を冒すの事をなさゞりしものゝ如し日本艦隊が自ら危險を冒さゞりし為め支那艦隊は却つて己が危險を免れたり而して日本軍艦の四吋七分速射砲より發したる彈丸は遠距離よりして支那艦隊を壓倒して遂に之を破りたりと雖も若し鎭遠にして進んで近距離に來りしならんには日本の大不幸を起したるならん只だ吾人の見る所を以てすれば一般に軍艦の戰鬪力は不便遲緩にして且つ今日の六封度砲の如く的中し難き巨砲よりも寧ろ頃合の大砲即ち四吋七分若くは六吋位の速射砲の多きにあるか如し然れども今度の役及び彼のリッサ海戰に於ては共に一艦の捕獲せられたるものなかりしを注意せざるべからず昔時の軍艦は檣折れ大砲破れ人も過半死傷して後に國旗を撤したれども今度の役に於ては少しも此類の事ありしを聞かず兩艦隊の距離甚だ遠かりしにも拘らず支那の二艦は沈沒し其他の諸艦は淺洲に走り其內一艦は焚かれ一艦は水雷に碎かれたり左れども其未だ沈沒せざる間に降を請はざるべからざるまで破損されたるものは一艦もなし並今度の役もリッサの役と同じく最後の打擊の非常に急なりし為め降參の暇なかりし者歟支那艦隊は實際上全く戰鬪力を失ひ其四艦は破壞され殘る中にも恃み切つたる二大艦は以來二箇月間更に海に出づる能はず其餘も皆破損して艦隊は全く壞はれたり故に日本は既に海上唯一の主人公となりたれば一兵を上陸せしめざるも大に支那を壓附し得べきや疑ひなく近頃は此の戰爭の竟に人種間の戰爭となるべき恐れ

ありと恐ろしげに論ず[illegible]
那に上陸せしめ以て之[illegible]
を始めて世人に知らし[illegible]
べしと雖も吾人の見る[illegible]
難なるを感じ支那をし[illegible]
議を承諾せしむるを得[illegible]
領今は決して難事にあ[illegible]
き軍兵を有せずと云ふ[illegible]
みとなれば進んで海岸[illegible]
ず支那北部の內國貿易[illegible]
るゝみとの如きは英國[illegible]
べければ日本人たるもの[illegible]
千八百四十一年の役[illegible]
府を略するや否や支那[illegible]
本にして此際同河口を[illegible]
は或は五十年前と同樣[illegible]
斯かる重大なる形勢に[illegible]
ざる所なりしが今や諸[illegible]
外交上專ら沈默主義を[illegible]
內閣員さへも平生の如[illegible]
に於ける火急なる內閣[illegible]
艦と千人の兵士を送ら[illegible]
助けむとするの目的に[illegible]
じ難し並し此の如きは[illegible]
に處置すべき所なるべ[illegible]
暫らく措き此戰爭の爲[illegible]
全なることと人物なき[illegible]
雖も富源その用を爲さ[illegible]
し其海軍は破壞されれ[illegible]
て大帝國と稱するに足[illegible]
日本軍の成功は東洋政[illegible]
大膽にして敏捷なる[illegible]
のなり而して日清兩國[illegible]
獨立國の實なきに至れ[illegible]
にも重要なる地方なれ[illegible]
べき地となれり我英國[illegible]
る利害を有せず故に吾[illegible]
ゐとなく只だ兩國の爭[illegible]
を望むの外、他意なき[illegible]
際に於てするも結局は[illegible]
免れざれば也り假令[illegible]
に從ふは唯一の合理的[illegible]
島に關し又此紙上に於[illegible]
北太平洋上に於ける海[illegible]
利害を有する事を忘[illegible]
安全を計り滿州殖民地[illegible]
持するは英國の最も[illegible]
諸問題の益す熱心な[illegible]
英國海軍力の相當に[illegible]
ものなり

○明治二十[illegible]

十一月

一日　吉野[illegible]

五日　佛國汽船シド[illegible]差止めらる

六日　第二軍金州城[illegible]君東京を發して[illegible]

七日　第二軍進で大[illegible]于秋兵京都高知[illegible]

八日　[illegible]

十日　[illegible]